



# さとのご通信



## 十郷っ子の学力は？ 学習状況は？ ～生きる力を育むために～

子どもたちの学力を把握する目的で毎年実施される全国学力・学習状況調査は、今年も4月に小学6年生と中学3年生を対象に行われました。福井県は、全国トップクラスの学力を維持し、東十郷小学校の平均正答率は、県や全国の平均を大きく上回っています（下表）。東十郷小学校では、県の分析結果を踏まえたうえで、独自に調査結果を分析し、今後の学習に活かしていきます。

### ◆教科に関する調査結果

**全国平均・県平均との比較**  
今回の学力調査では、国語と算数は県や全国の平均を2%以上上回る結果となりました。国語に関しては、とくに優れた結果がみられました。

	国語	算数
本校	◎	◎
福井県 (%)	72	69
全国 (%)	63.8	66.6

### 良好なこと…◎ 課題となること…▲

**国語**

- ◎言葉・漢字を適切に読み取り、使うこと。
- ◎目的や意図に応じて、複数の本や文章などを選んで読むこと。
- ◎話す・聞く力こと。
- ▲目的や意図に応じて、内容の中心を明確にして書くこと。
- ▲条件を見つけ出し、その条件に合わせて書くこと。
- ▲相手や場面に応じて適切に敬語を使うこと。

**算数**

- ◎基礎的な計算の技能。
- ◎角の大きさ、合同な図形の条件といった図形に関すること。
- ◎先に示された考えをもとに、数量の関係を正しく表現すること。
- ▲わり算の意味を理解すること。
- ▲円周率を求めるといった、式の意味に関すること。
- ▲1に当たる大きさを求める問題場面で、数直線上に正しく表すこと。

### 今回の結果を踏まえてこれから力を入れて取り組んでいくこと

**国語の学習では**

- ・文章を書く際に目的に合った構成を考え、その良し悪しについて考える場面を設ける。
- ・説明文や物語などの問題を解く際には、解答するために、必要な条件に線をつけ、抜け落ちないようにする。
- ・相手と自分の立場を考えて、適切に敬語を使い分けるようにする。

**算数の学習では**

- ・問題の意図を的確に捉えるために、図や数直線を使って考えることを習慣化させる。
- ・かけ算とわり算を一緒に扱う活動を取り入れる。また、問題作りを行い、わり算になる数量の関係について理解を深める。
- ・問題文の中の一つ一つの数値や式の意味を考える機会を設ける。

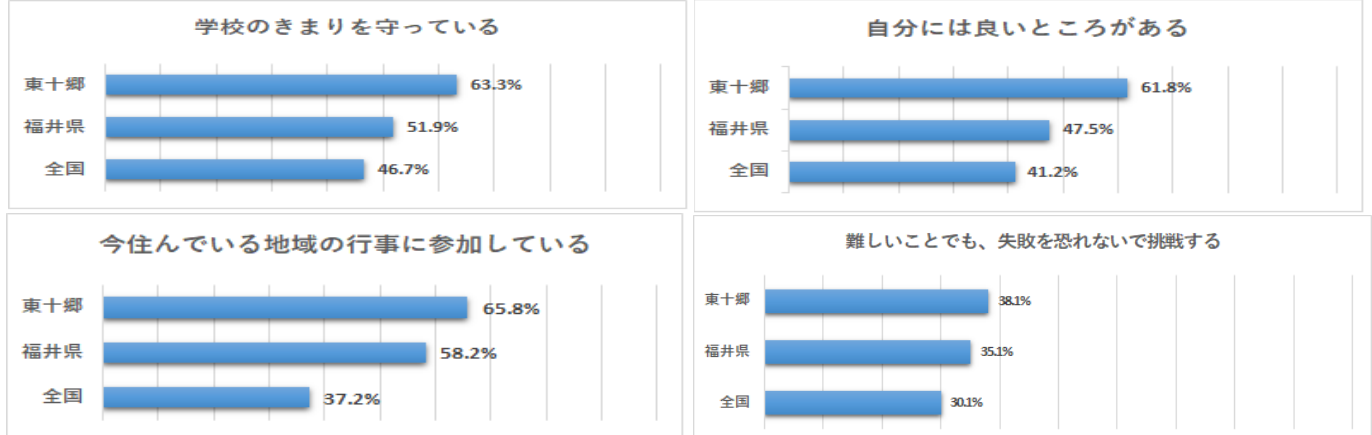
### 【アルミ缶回収】ありがとうございます

前号でお願いしました「アルミ缶回収」ですが、おかげさまで昨年よりも多くのアルミ缶が集まっています。これからもこの調子で増えていきますようにアルミ缶の回収にご協力をお願いします。

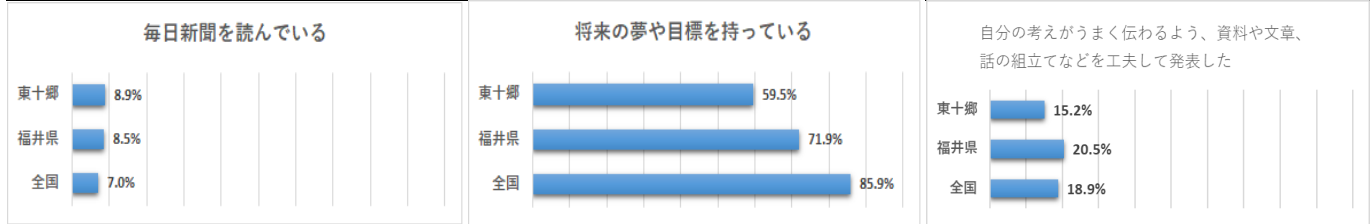
## 家庭での生活状況や学習環境は？

全国学力調査では、「生活習慣や学習環境による質問紙調査」も行われ、その結果からも学力向上へのヒントを得ることができました。いわゆる「早寝、早起き、朝ごはん」の規則正しい生活が、学習への集中力を高めていることがわかります。また学校のきまりを守っていると答えた東十郷小学校の子ども割合は、非常に高くなっています。本校では、学習状況、家庭、地域との関わりについての全ての質問項目で県平均よりも良好な結果となっており、日頃から家庭や地域と学校が一体となって、子どもたちを育てていると言えます。

### 特に良質なこと・・・◎



### 課題となること・・・▲



### ◆児童質問紙調査からの分析

- ◎「学校のきまりを守っている」と答えた児童が、63.3%と県や全国の平均よりも上回っています。このことから、規範意識が高く、委員会活動や学級の係活動などまじめに取り組むことができている様子につながっていると思います。
- ◎「自分には、良いところがある」と答えた児童は、どちらかといえば当てはまるも含めると88%以上と高いです。多くの児童が高い自己肯定感を持っています。ご家庭で児童自身が認められていること、学校生活の中で、成功体験や達成感を味わうことができているからだと思います。
- ◎「地域の行事に参加している」と答えた児童は平均を大きく上回っており、地域とのつながりが深く、地域が学びの場になっていると考えられます。
- ◎「難しいことでも、失敗をおそれずに挑戦している」と答えた児童が、どちらかといえば当てはまるも含めると84%以上と高いです。これは、授業や行事などで挑戦する楽しさを感じているからだと思います。また、失敗したときにも励まし合う学年の雰囲気とその気持ちを育てていると思います。
- ▲「毎日新聞を読んでいる」児童は平均を上回っているが8.9%と低いです。一方でテレビやスマホでニュースを見る児童が大変多くなっています。世の中への関心が強い児童は多いので、学校の授業の中で新聞を活用し、新聞から情報を読み取る力を身につけさせていきたいです。
- ▲「将来の夢や目標を持っている」と答えた児童が59.5%と平均を下回っています。将来について考えを深めていけるように、道徳や総合的な学習の時間を利用してキャリア教育に力を入れます。
- ▲「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある」と答えた児童が15.2%と県や全国平均より低いです。本校では地域と連携した活動を積極的に行っていますが、児童が十分に認識していないと思われます。児童が地域をより身近に感じる活動を行っていきます。